

ファイン企業群 探訪

ダイヤアクアンリユーションズ

ている。

同社は、三菱ガス化学が開発した空調用排水処理薬剤を中心に技術サービスを展開していたダイヤ水処理サービスが前身で、2004年4月に環境関連事業を中心とした現在の会社になった。主力事業の空調用排水処理は大きく分けて洗浄剤、防食剤、総合水処理剤に分類される。同社(三菱ガス化学)はこの分野のバイオニアとして洗浄剤の「オニア」や防食剤の「オニスライム」を1971年に発売、総合水処理剤では業界で最初にヒドランシンを応用し、困難とされていた1液化を実現した「コンタイム」を提供しながら25年の豊富な経験を有するにいたっている。

その後、薬剤改良の変遷を経て、非ヒドランシン系の

空調用排水処理剤のバイオニア



浦橋社長

総合水処理剤「コンタイム1000」シリーズを市場投入、さらに今年度は「コンタイムM1000」を発売した。変異原性が極めて弱く、PRT法指定物質を含まないなどの安全性や環境に対する特徴に加え、1液で腐食防止・スケール防止・スライム抑制・レジオネラ菌抑制の4機能を提供する。

特殊排水分野など多角化

生産は親会社でもある三菱ガス化学に業務委託しているが、生産設備は今年10月からダイヤアクアンリユーションズの専用設備になった。これにより「生産、すべてを自社で決定できる



本社入居ビル

開発、販売、サービスなど、よきになり、意思決定の迅速

速化が図れるようになった(同)そうだ。空調用排水処理剤は成熟産業であるため、これまで培ったビジネスを応用し多角化を進めている。例えば排水処理剤もそのひとつで、2005年から特殊排水(難分解性排水)処理剤の開発を行い同分野への進出を果たした。また、空調用排水処理剤の技術が応用できるスクラパー専用薬剤「スクラタツチシリーズ」を第2の柱とすべくリユーション型ビジネスを展開、育成している。

さらに、それに続くものとして「レル管理」を利用する除菌・消臭分野での展開も検討

◇会社概要◇

- ▼本社=東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル5階
- ▼設立=1984年10月(ダイヤ水処理サービス)、2004年4月現社名に変更
- ▼営業拠点=東京営業所(本社と同じ)、大阪営業所(大阪市北区)、福岡営業所(福岡市博多区)
- ▼研究拠点=研究技術センター(東京都葛飾区)
- ▼従業員=約30名
- ▼事業内容=工業薬品の製造販売、工業薬品注入装置などの水処理装置全般の設計・製作・販売、工業薬品の使用方法に関する技術サービス業務など